

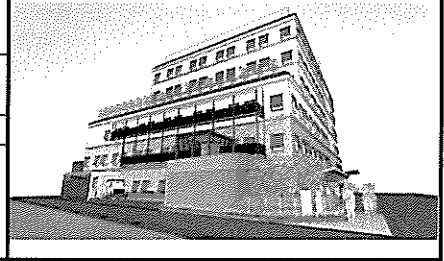
この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築 [簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追加版Ver.2 (BPI/BEE対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	京都ルネス病院	階数	地上7F
建設地	京都府福知山市	構造	RC造
用途地域	商業地域、近隣商業地域、防火地域	平均居住人員	300人
気候区分		年間使用時間	8,000時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年3月 予定	評価の実施日	2010年10月8日
敷地面積	4,285 m ²	作成者	松井
建築面積	2,363 m ²	確認日	2010年10月10日
延床面積	10,660 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.8 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値: 100%

②建築物の取組み: 88%

③上記②以外のオンサイト手法: 88%

④上記②以外のオフサイト手法: 88%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		その他
<p>総合</p> <p>外断熱を採用し、高断熱なトリプルガラスの本製サッシとオーニングを組み合わせた計画とした。</p>		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
風速を抑え、調湿機能を付加した空調設備を用いて、快適な室内環境とする。	間取り変更に対応するため、内部は入替え可能な乾式間仕切壁を採用する。免震構造を採用する。	屋上を一部緑化する。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
高効率な設備機器を採用する。	ノンフロン断熱材を採用する。節水機器の採用する。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい